

大阪・若江遺跡

若江

- |   |               |      |                           |
|---|---------------|------|---------------------------|
| 7 | 遺跡及び木簡出土遺構の概要 | 所在地  | 大阪府東大阪市若江本町・北町・南町         |
| 6 | 遺跡の年代         | 調査期間 | 一九八〇年（昭55）十月～一九八一年（昭56）二月 |
| 5 | 遺跡の種類         | 発掘機関 | 東大阪市教育委員会・助東大阪市文化財協会      |
| 4 | 調査担当者         | 阿部嗣治 |                           |
|   |               |      |                           |
|   |               |      |                           |
|   |               |      |                           |

発掘調査は、一九七二年に若江小学校校舎増築に伴う調査を実施して以来、現在まで国庫補助事業・下水道管渠築造工事・府道四条・長堂線拡幅工事などに伴う調査をほぼ毎年実施し、その調査総面積は約六〇〇〇<sup>m<sup>2</sup></sup>に及んでいる。これらの調査により、若江城の堀・壁基壇・礎石・井戸・溝、あるいは中世集落に伴う井戸・溝・土壌・ピットなどの遺構を数多く検出しており、若江城・中世集落の様相は徐々に解明されつつある。

寺が存在している所として著名である。遺跡は、

事の際に多量の弥生土器  
土師器、須恵器、瓦など  
が出土したことによつて  
知られるようになつた。



(大阪東南部)

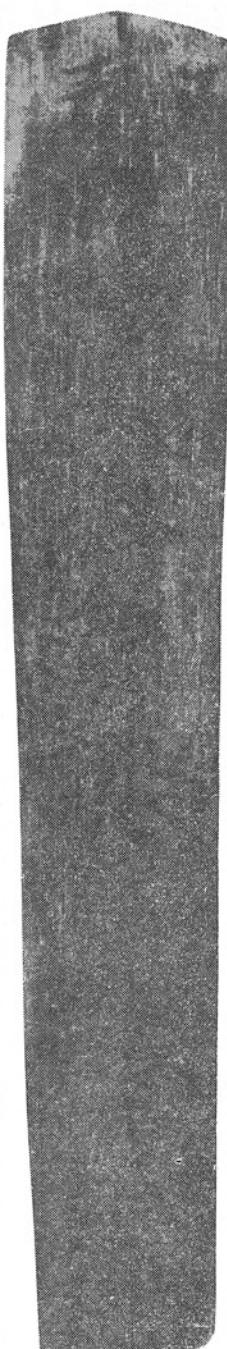
8 木簡の新文・内容

このように現在まで検出した遺構・遺物は、若江城の規模・構造あるいは城内生活を探る上で貴重な資料であると言えよう。

奉轉讀大般若經難信解品之砌也

180×29×5 0111

奉轉讀大般若經難信解品之砌也  
『正月三日』  
木簡の右下半に墨書の痕跡が認められるが判読不可能である。しかししながら本木簡と同様の木簡が出土している広島県福山市草戸千



軒町遺跡の例を見ると同位置に年号の墨書きがあること、本木簡左下  
半に月・日の墨書きがあることから見れば、右下半には年号の記載が  
あつたと思われる。

## 9 関係文献

- 下村晴文 『若江寺跡・若江城跡 東大阪市埋蔵文化財包蔵地調  
査概報15』 (東大阪市教育委員会) 一九七五年
- 勝田邦夫 『若江城跡』 (『若江城跡 北鳥池遺跡調査報告』 東大阪市  
新田洋 遺跡保護調査会) 一九七五年
- 福永信雄 『公共下水道第16工区管渠築造工事に伴う若江遺跡の  
発掘調査』 (『調査会ニュース』 №9 東大阪市遺跡保護調  
査会) 一九七七年
- 芋本隆裕 『若江遺跡』 (『鬼塚遺跡II・若江遺跡発掘調査報告 東大  
阪市埋蔵文化財包蔵地調査概報19』 東大阪市遺跡保護調査  
会) 一九七九年
- 勝田邦夫 『若江遺跡』 (『縄手遺跡・瓜生堂遺跡・若江遺跡・額田寺  
跡 東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概報21』 東大阪市教育  
委員会) 一九八〇年
- 阿部利明治  
勝田邦夫 『若江遺跡・山賀遺跡発掘調査概報』 (『東大阪市遺跡  
保護調査会発掘調査概報集一九八〇年度』 東大阪市遺跡保  
護調査会) 一九八一年
- 阿部嗣治  
上野利明文 『若江遺跡の現状と展望』 (『調査会ニュース』 №20 東  
大阪市遺跡保護調査会) 一九八一年
- 下村晴文 『半堂遺跡・若江遺跡発掘調査概報 東大阪市埋蔵文  
化財包蔵地調査概報23』 (東大阪市教育委員会) 一九八二年
- 阿部利明治  
ほか 『若江遺跡発掘調査報告書I・遺構編』 (東大阪市遺跡保  
護調査会) 一九八二年
- (阿部嗣治) 一九八二年